

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

山口市立良城小学校

学習環境・指導体制の整備

子どもの実態や変化に対応し、学びを豊かにする安心安全な学習環境・指導体制を整える。

安心安全を感じられる学校の新しい生活様式の構築

しんがたコロナウイルスから
じぶんをまもるために

たいせつ

なこと

たいおんをはかる

いつもマスクとハンカチを
もってくる

せっけんでてをあらう

つかれをためない

養護教諭が作成した感染症予防に係る指導資料。1年生児童に分かりやすい文言を用い、更に個に応じた指導・支援を行うことにより、全校体制で感染予防徹底を図ります。

掲示物の内容や動線の工夫は、児童の実態や発達の段階を踏まえたものになるよう配慮を欠かしません。

【1年生】教室への入り方

- (1) くつを げそくばこに いれます。
- (2) オープンスペースに ランドセルをおき、
①「けんこうチェックカード」を カードいれに
いれます。
②せっけんで てを あらいます。
- (3) ランドセルをもって
きょうしつへ はいります。
- (4) かばんじまいを します。

【ちゅうい】

けんこうチェックカードを わすれたり、
おうちで けんおんを しわすれたりしたひとは、
ほけんしつに いって、けんおんを しましょう。



成果

スタートカリキュラムを新型コロナウイルス感染症予防に係る行事や教育課程の組み直し等、新しい生活様式の構築を図る一つの視点として活用し、個に応じた指導の充実を図ることにより、1年生児童に対する負担を軽減することができた。

支持的風土を醸成する交流場面の設定



地域の方をゲストティーチャーに招いて「いもほり体験学習」をし、教わった「芋づる綱引き」で、全員で力自慢を競います。



なかよし班(縦割り班)活動では、遊びの中で異年齢とのかかわり方や集団のルールを学びます。



コミュニケーションの基本として、自分の立場や考えを明確に示す話し方・聞き方を学びます。

成果

異年齢とのコミュニケーションを通じて、人とのかかわり方や集団行動のルールを体験的に学ぶことができるよう、一人ひとりの交流場면을重視した。互いの特長や成長を認め合う支持的風土が醸成されてきている。